

USB ダンパーの導入(10)

—SSD から PC への USB 入力におけるハイレゾファイル音源再生—

1. 始めに

前報(9)に引き続き、ヴォリュームアキュライザーの感想文により入手した USB ダンパーの効果を確認していきます。

2. USB ダンパーの試聴計画

今回は、サムソン製の可搬型 SSD から PC への USB 入力に USB ダンパーを使用します。

サムソン製 SSD→PC



音源は、サムソン製 SSD に収納したハイレゾ音源等です。
再生ソフトは、TEAC Hi-Res Editor を使用します。

3. USB ダンパーの試聴結果

TruPhase と Langevin 6V6pp アンプには VRA-7 を貼っており、PC の USB 出力に USB ダンパーを使用していますので、USB ダンパーなしでも、これまでと違った音質で再生されています。この SSD からの再生は、前報(8)の SD メモリーおよび前報(9)の UDB メモリーより音のクオリティは高いようです。

5.6MHzDSD 録音音源の元音源は、前報(9)と同じく次のようなものです。

藤田恵美 Headphone Concert 21 ライブ配信

BPODCH ヘンデル ハープ協奏曲

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 3 番 (Trio Record)

グッリ指揮ミラノアンジェリクムオーケストラ

さらに SS 社の 11.2MHzDSD 音源も使用してみました。

バッハ 無伴奏チェロ組曲 シュタルケル SSHRB-005

チャイコフスキー他 くるみ割り人形(抜粋) 他

アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団 SSHRB-004

SSD からの PC への入力端子に、USB ダンパーを適用しますと、SD メモリーや USB メモリーの場合と同様、藤田恵美のボーカルのニュアンスが明瞭になり、ライブの雰囲気に戻ります。

ヘンデルのハープ協奏曲では、SD メモリーや USB メモリーの場合と同様、アンサンブルやハープの音が浮き出て、BPO での演奏の表情が掴みやすくなります。

モーツァルトのヴァイオリン協奏曲 3 番は、SD メモリーや USB メモリーの場合と同様、ヴァイオリンや弦楽合奏の音の艶が乗ってきます。

音質のベースが SD メモリーや USB メモリーよりハイレベルのため、USB ダンパーを適用した場合もハイレベルになります。

11.2MHzDSD 音源では、バッハの無伴奏チェロ組曲は、チェロの音に深みが出てきます。

コヴェントガーデンガラコンサートでは、オーケストラの分離が良くなり、迫力が出てきました。

4. まとめ

サムソン製の可搬型 SSD から PC への USB 入力に USB ダンパーを使用した効果を認めました。

以上